

伊良湖岬小学校候補地説明会（和地校区） 議事要旨

日 時	平成26年2月9日(日)19時00～20時20分	
場 所	和地市民館	
参加者	校区会長ほか（校区）	
	地域住民（男性・女性）	45 人
	田原市（市）	教育委員会 前田部長、中村次長、山本課長
資 料	新設小学校の候補地について	

和地校区会長：開会あいさつ

前田部長：あいさつ（提案の経緯説明）

中村次長：資料内容の説明（別添資料）

《主な意見等》

問：和地小学校の場所から移設して学校を新設する理由？

答：住民との懇談会において、「和地は一時的に利用すること。」で説明し、地元からも早い時期に新しい学校の要望があった。また、和地小の校舎、プールなどは老朽化による施設の更新が必要であるため、新たな場所への移転を提案している。

問：メリットにある小中連携の内容は？

答：説明会で、岬中を残し小中一貫の学校はできないかななどの意見があり、教委でもテーマとして検討してきた。小中間で子どもの情報を共有し連携して教育活動を行うことができる。特に実践校では「不登校が減少した」などの成果も上がっている。

問：中学校の再編の動向が不明確のままで、岬中学校がいつまであるのか分からないので小中連携のメリットとは言えないのでは？

答：現在、渥美8校区で中学校の方向性について協議中であり、岬中学校が現在の場所にある間は、試験的に小中連携に取り組みたい。

問：中学校と小学校の部活動における体育館や運動場の調整はできるのか。

答：中学校は、平成32年度には、全校で約80人に生徒数が減少し、現在の部活動は維持できないと考える。

また、小学校の敷地に小運動場の設置ができることなどから、調整は十分可能であると考えている。

意見：子どもたちのために、時間をかけてもリスクの少ない安全な場所に決めてもらいたい。

意見：個人的には岬中学校の北側に賛成である。各地で取り組まれている小中一貫校の取り組みを進めて欲しい。

答：岬中の統合については、時間がかかることが予想される。中学生にとっても小中連携の利点を生かした取り組みを進めたい。

意見：岬中北側の案は、体育館及び運動場が中学校との共有となる。部活動での調整など、子どもたちに施設が揃ったところでスタートさせたい。和地は、和地小の場所でこのまま小学校を使って欲しい考えがある。

答：利用できる施設は、利用したい。他の校区では和地小は一時的な場所で、早い時期での小学校の移転要望がある。